

【議案第 44 号】

財産の無償貸付について（「道の駅」ゆうひパーク浜田）

私は、ただいま議題となっております議案第 44 号「財産の無償貸付について」に対し、反対の立場から討論を行います。

ゆうひパーク浜田を 15 年無償で貸すことに反対です。浜田自慢の「ゆうひパーク浜田」って、良いところですよ。日本海に沈む夕日が綺麗で、一等地ですよ。今、あの場所を広島業者に「今後 15 年間、タダ（無償）で貸し出します」というビックリするような案が出ています。ほかの議員の推測では年 2000 万円として 15 年で 3 億円以上になるようです。これ、市営住宅に例えると「来週から市営住宅の家賃私の家賃もタダにしてください」と言ってるのと同じです。市役所の窓口で家賃タダにしてくれと言ったら、それこそカスハラ条例の対象、不当要求で弁護士対応になる案件だと思います。なのに、なぜ特定の業者にだけはこれが許されるのか。詳しく調べてみたら、ツッコミどころ満載の 3 つのなんでやねんが見つかりました。

1 つ目はこれまでの業者と扱いが違いすぎないか。これまで頑張ってきた地元の第三セクターには、市は固定資産税、土地代もキッチリ払ってねと、ビジネスとして当たり前の厳しさで接してきました。ところが、今回新しく入る業者には使用料はタダ、固定資産税も土地代もタダ。これ、普通の市民からしたら、税金を納めている市民からしたら、なんでそこだけ最優遇するのって話です。行政の公平性はどこ行ったのという話です。

2 つ目はギリギリに出てきたデータからボロがでてしまったことです。この計画書、市が議会に出してきたのが、なんと議会のわずか 4 日前。こどもの夏休みの宿題ではありません。重要な書類を 4 日前かよって話です。これじゃあ私たち議員も、しっかりチェックする時間がありません。しかも、中身を開いたら、テナント（お店）の家賃の話です。タダで借りて、金をとって貸す、おさかな市場が 1,100 円ですが、最初は言えないと言ってましたが、追及に耐えられなかったからか直前に、「家賃は月々 1 平方メートルあたり 1,500 円くらいです」と説明していました。ところが、そのあと後になって、「実際は 1,663 円、おまけに、家賃 10 ヶ月分の敷金、浄化槽代も半分」という、厳しい条件だということがわかりました。自分はタダで借りて、家賃をとる。おさかな市場の 5 割アップ、家賃が 50 万なら敷金は 500 万です。自分は市の施設をタダで借りておいて、相場より高い条件で貸し付ける市民感覚で理解できますでしょうか。

私は理解できません、市になんで最初から本当のことを言わなかったのか問い詰めたら、業者から秘密にしてねって言われたので、言いませんでした。市民の税金が絡む大事な話を、業者の顔色を伺って隠すなんて、完全に本末転倒だと思います。

令和 8 年 6 月定例会議 森谷 公昭議員 反対討論

3 つ目は道の駅のプロって、一体誰のことです。専門家がちゃんと選んだんでしょと思いますよね。6 月の会議で、私が審査員には道の駅のプロはいるんですかと聞いたら、市は専門家がいますと言っていました。どんな道の駅のカリスマが揃っているのかなと調べたら税理士、社労士、大学の先生のようなかた。デスクワークのプロかもしれませんが道の駅のプロではありません。道の駅の現場の運営に詳しいプロはどこにも見当たりません。言っていることとやっていることが全然違います。

最後にゆうひパーク浜田は、市民の皆さんの大切な財産です。それを 15 年間タダで貸しますという重大な決定を、こんなに不公平で、隠し事だらけで、審査も不透明なまま認めるわけにはいきません。これ、ゆうひパークというすてきな名前とは裏腹に市がやってることはお先真っ暗です。今は一度立ち止まって、計画を練り直すべきです。議員の皆さんも、特別扱いの大振る舞いを許すことなく、市民の財産を守るために、今回は、ダメと声を大にして言いましょう。

以上、森谷公昭の反対討論でした。ありがとうございました。